

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	山梨市における下水道推進の実現													
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	山梨市													
計画の目標	下水道整備を行い、公共水質の保全と共に、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		70	A	70	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26年度当初	H28年度末	H30年度末
1	①重要な管路の耐震診断率を54%（H26年度当初）から100%（H30年度末）に増加させる。			
	①重要な管路の耐震診断率 重要な管路耐震診断済延長（km）／重要な管路の延長（km）	54%	80%	100%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

山梨市社会資本総合整備計画評価会議

事後評価の実施時期

令和2年2月25日

公表の方法

山梨市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道処理人口普及率は、48.6%から54.9%となり、新たに1,160人が下水道を使用できるようになった。計画期間において79.8haの供用を開始した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

未普及地域の整備は、早期に投資効果が得られる地域の整備を優先し、また、人口減少を踏まえ、真に下水道施設が必要な地域の選定と整備により、汚水処理人口普及率と水洗化率の向上を図る。

（水洗化率⇒水洗化率は「供用開始人口」に対する「水洗化人口」の割合）

